



米国穀物レポート コーン・大豆

2016年6月13日

TOCOM認定商品アナリスト(石油、オプション)

日本テクニカルアナリスト協会

検定アナリストCFTe

玉川博一

6月発表USDA需給報告

概要と分析

出所: 米国農務省



アナリスト証明

本レポートは投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。本レポートに示した意見は私の見方を正確に反映しています。本レポートに示した意見は、レポートの作成日現在の意見を示すものです。先物取引は大きなリスクを被る恐れがあり、すべての投資家に適切な取引ではありません。また、銘柄の選択および投資の最終判断およびその責任はお客様自身でなさるようお願い致します。このレポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、岡安商事(株)および執筆者は、この正確性、完全性、適時性、信頼性に関する責任を負いません。チャートラインなどには、執筆者の主観が入っていますのでご留意下さい。執筆者の報酬は、このレポートの推奨や見方によって、現在、過去、未来にわたって一切影響を受けません。また当社、岡安企業グループが行ったいかなる投資案件とも本レポートとは関係ありません。商品先物取引は元本が保証されているものではなく、短期間で大きな利益を得る可能性もありますが、投下資金の数十倍以上の額を取引する証拠金取引であるため、相場の変動により投下資金以上の損失が生じることもあります。お取引にあたっては充分にご検討下さい。当社ディスクロージャー資料は当社本支店または日本商品先物取引協会でご覧いただけます。

とうもろこし (Corn)

6/10USDA発表

2015／16年度米国コーン ()内前月見通し

作付面積	:	8799.9万エーカー	(8799.9万エーカー)
収穫面積	:	8074.9万エーカー	(8074.9万エーカー)
単 収	:	168.4Bu	(168.4Bu)
期首在庫	:	17億3100万Bu	(17億3100万Bu)
生 産	:	136億0100万Bu	(136億0100万Bu)
輸 入	:	6000万Bu	(5500万Bu)
供給合計	:	153億9200万Bu	(153億8700万B)
飼料、その他	:	52億5000万Bu	(53億0000万万Bu)
食品・種・工業用	:	66億1000万Bu	(66億1000万Bu)
内エタノール	:	52億5000万Bu	(52億5000万Bu)
輸 出	:	18億2500万Bu	(17億2500万Bu)
消費合計	:	136億8500万Bu	(135億8500万Bu)
期末在庫	:	17億0800万Bu	(18億0300万Bu)
在庫／消費率	:	12.5%	(13.3%)

6/10 USDA発表

2016／17年度米国コーン ()内は前月見通し		
作付面積	:	9360万エーカー (9360万エーカー)
収穫面積	:	8590万エーカー (8590万エーカー)
単 収	:	168.0Bu (168Bu)
期首在庫	:	17億0800万Bu (18億0300万Bu)
生 産	:	144億3000万Bu (144億3000万Bu)
輸 入	:	4000万Bu (4000万Bu)
供給合計	:	161億7800万Bu (162億7300万Bu)
飼料、その他	:	55億5000万Bu (55億5000万Bu)
食品・種・工業用	:	66億7000万Bu (66億7000万Bu)
内エタノール	:	53億0000万Bu (53億0000万Bu)
輸 出	:	19億5000万Bu (19億0000万Bu)
消費合計	:	141億7000万Bu (141億2000万Bu)
期末在庫	:	20億0800万Bu (21億5300万Bu)
在庫／消費率	:	14.2% (15.2%)

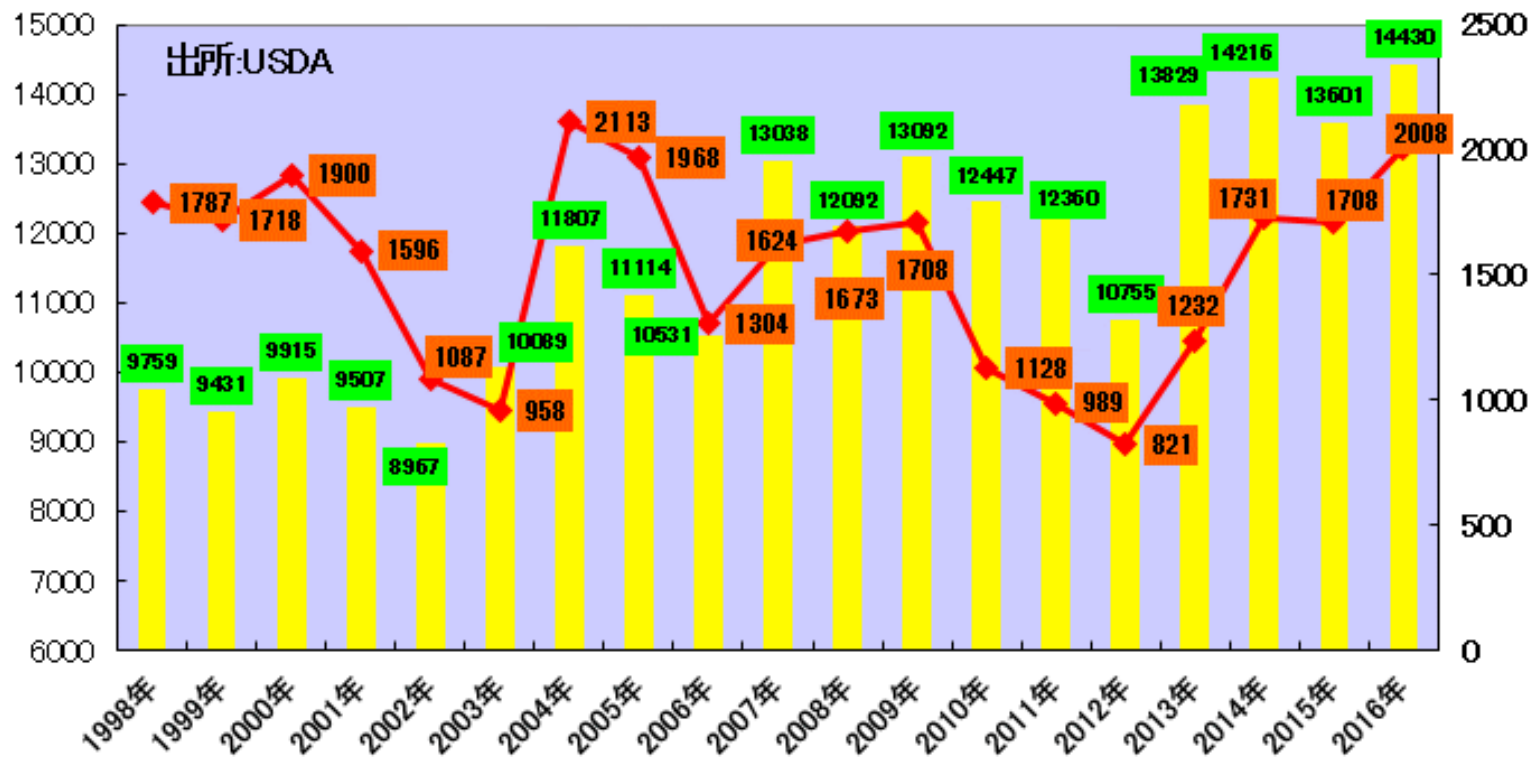
輸出増加見通しで新穀米国コーン期末在庫は20.08億Buに下方修正

- 旧穀は輸出が1億Bu引き上げられ、期末在庫は9500万Bu引き下げられました。新穀は輸出が5000万Bu引き上げ、期初在庫の9500万Bu引き下げを受けて、2016/17年期末在庫は20億0800万Buと1億4500万Buの下方修正となり、ロイター予想平均21.25億Buを下回りました。

コーン期末在庫は旧穀、新穀ともに引き下げ

米国コーン生産高と期末在庫

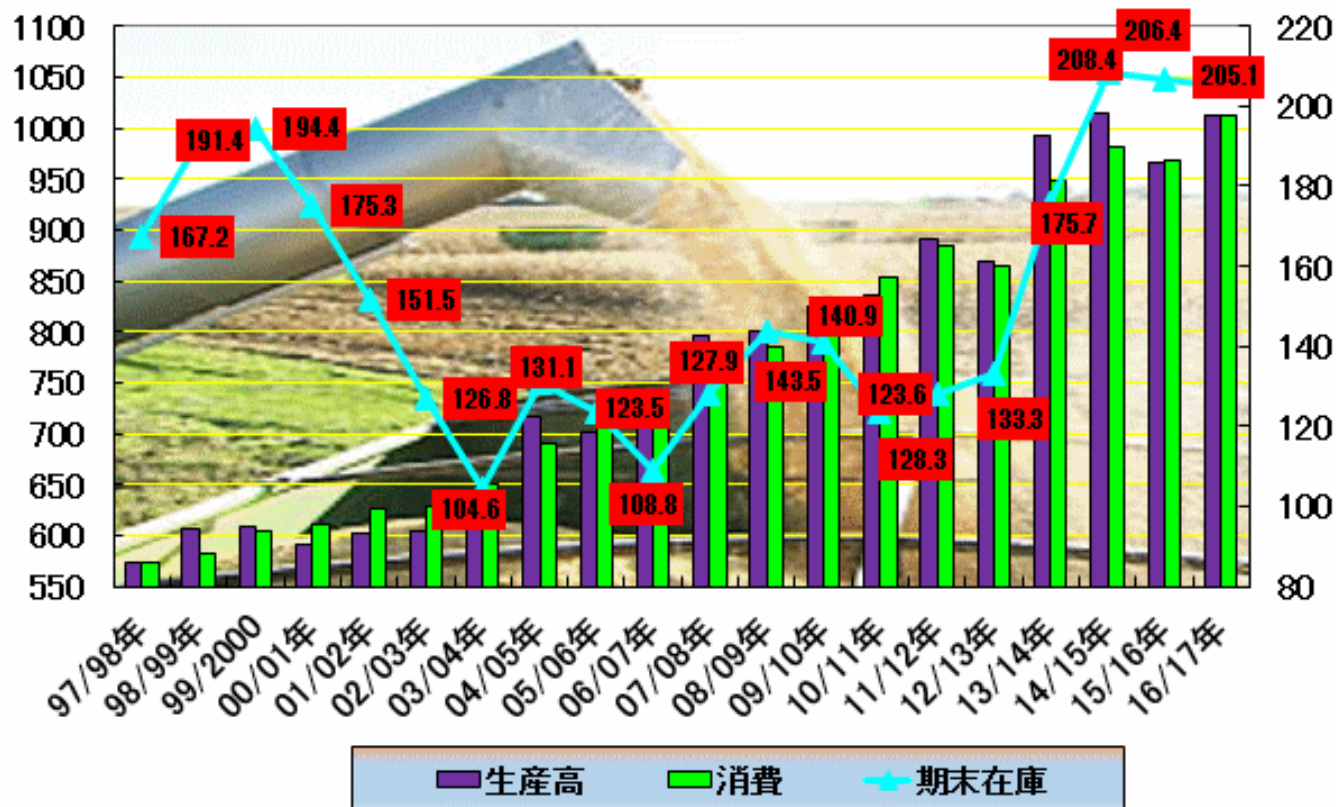
百万Bu



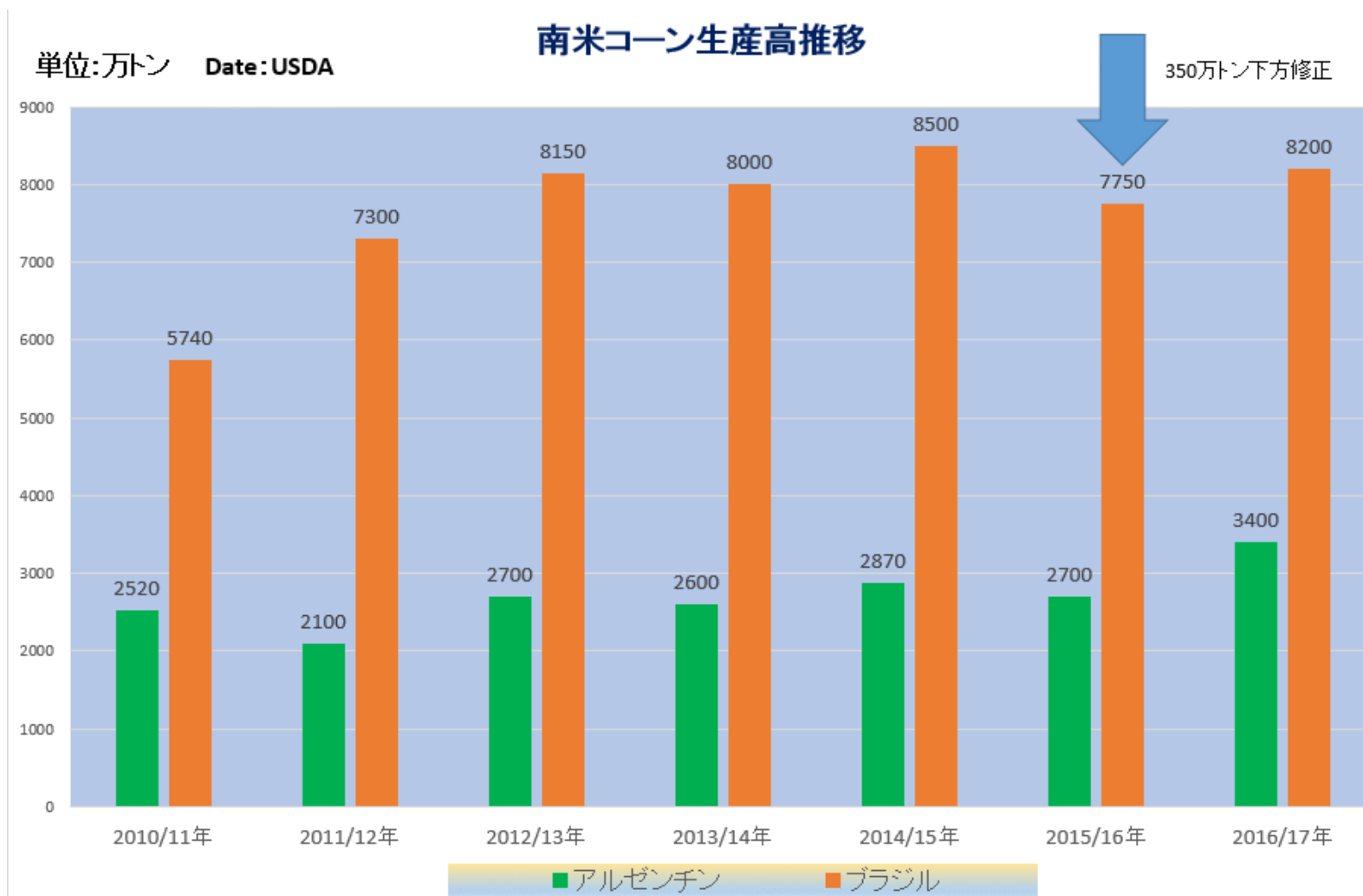
2016/17年世界期末在庫は、2億0512万トン、ロイター予想平均2億0518万トンをわずかに下回る。

世界コーン需給

単位:百万トン Date:USDA



旧穀2015/16年ブラジル生産高は下方修正



世界コーン需給

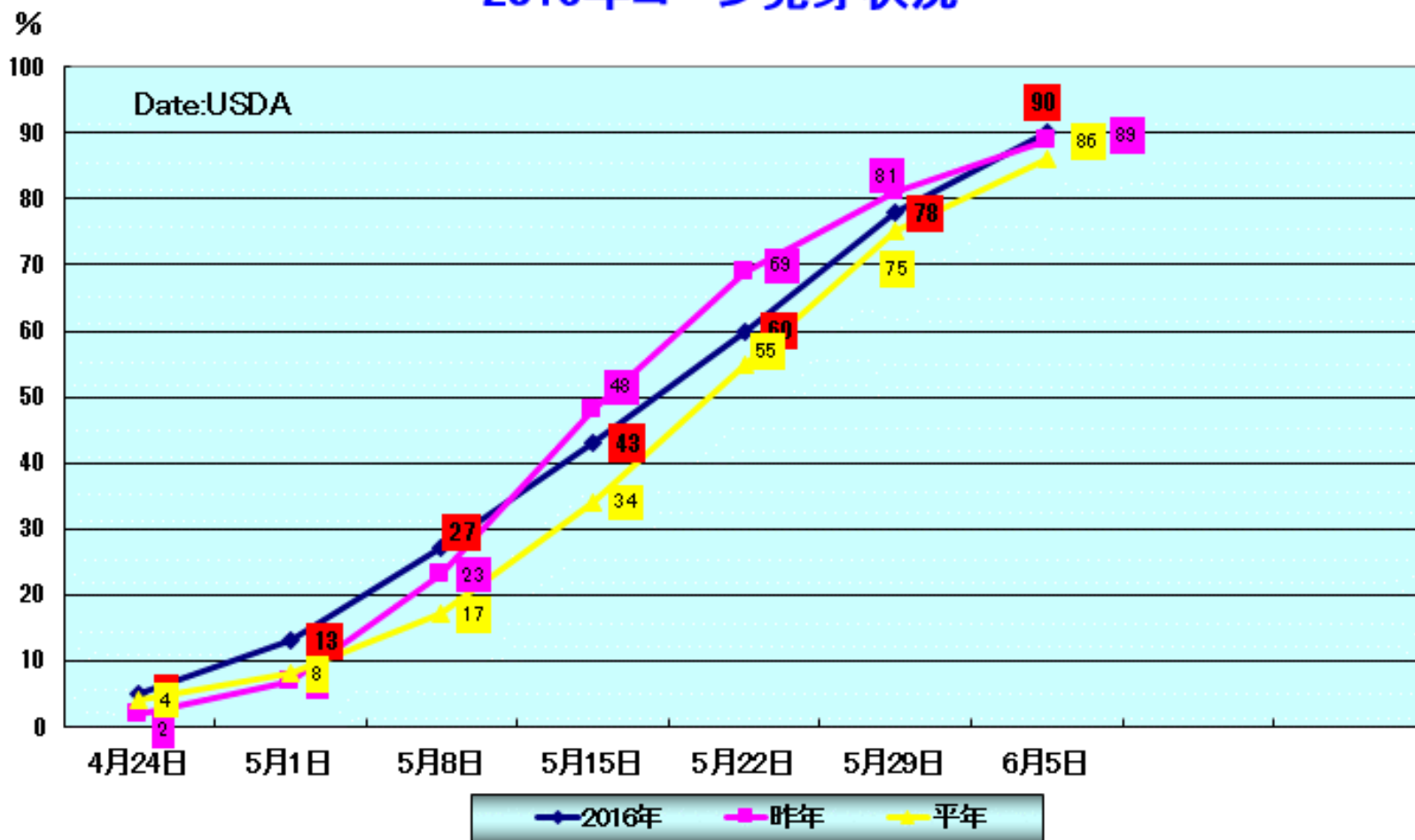
- 2015/16年度世界需給は、世界コーン生産高が9.6636億トンと-249万トンの下方修正となりました。2015/16年ブラジル生産高は-350万トン(8100→7750万トン)と2ヶ月連続で大きく引き下げられました。2015/16年世界コーン期末在庫は、2.0644億トンとしました。新穀の2016/17年世界コーン期末在庫は2.0512億トンと191万トンの引き下げとなり、ロイター予想平均の2.0518億トンをわずかに下回りました。新穀南米生産高は、据え置きとなりました。

ブラジル産地



6/5現在、作付は98%終了、発芽率90%

2016年コーン発芽状況



結論

- 米国産期末在庫は旧穀、新穀とも輸出の引き上げを受けて、下方修正となりました。1.45億Bu下方修正の20.08億Buとし、ロイター予想平均の21.25億Buを下回りました。
- 単収、生産高、作付面積など供給サイドは旧穀輸入以外の数字はいじらず据え置きとしました。6月末の作付面積報告の数字が下方修正される可能性もありそうだが、天候相場序盤の作付進捗はほぼ終了し、発芽も現在のところ順調である。8月にラニーニャ現象による高温乾燥も懸念されてるものの受粉が終わってからで、単収の引き上げは十分あると思われる。
- 東京コーン先限は、先週高値23750円まで値を飛ばしましたが、現在、作付も発芽も順調で豊作観測の高まりで、ここからの上値は限定的といえなくもないが、受粉までのあと1ヶ月は、天候リスクを考慮すると深押しはないと思われ、目先は高持ち合いとなりそうです。

東京コーン先限日足



平成28年6月13日

H.Tamagawa AllRightsReserved

大豆 (SoyBean)



6/10発表USDA大豆需給報告

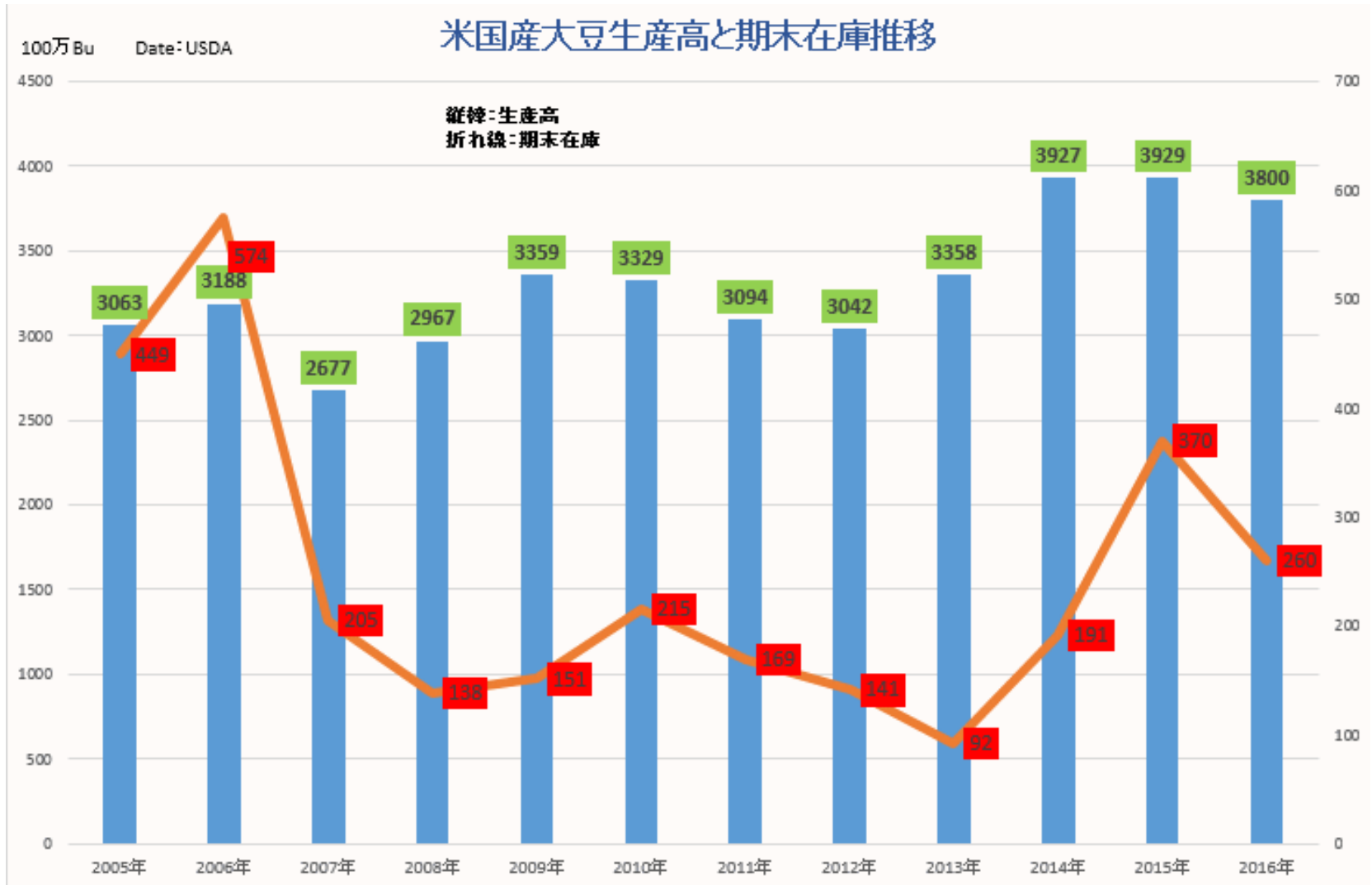
2015/16年度米国産大豆 ()内前月

作付面積:	8265万エーカー	(8265万エーカー)
収穫面積:	8181万エーカー	(8181万エーカー)
単収	: 48.0Bu	(48.0Bu)
期初在庫:	1億9100万Bu	(1億9100万Bu)
生産	:39億2900万Bu	(39億3000万Bu)
輸入	: 3000万Bu	(3000万Bu)
供給合計:	41億5000万Bu	(41億5000万Bu)
圧砕	:18億9000万Bu	(18億8000万Bu)
輸出	:17億6000万Bu	(17億4000万Bu)
種子その他:	1億2900万Bu	(1億2900万Bu)
消費合計:	37億8000万Bu	(37億5000万Bu)
期末在庫:	3億7000万Bu	(4億0000万Bu)
在庫率	: 9.79%	(10.6%)

6/10発表USDA大豆需給報告

2016/17年度米国産大豆			()内前月見通し
作付面積:	8220万エーカー		(8220万エーカー)
収穫面積:	8140万エーカー		(8140万エーカー)
単収	: 46.7Bu		(46.7Bu)
期初在庫:	3億7000万Bu		(4億0000万Bu)
生産	:38億0000万Bu		(38億0000万Bu)
輸入	: 3000万Bu		(3000万Bu)
供給合計:	42億0000万Bu		(42億3000万Bu)
圧砕	:19億1500万Bu		(19億1500万Bu)
輸出	:19億0000万Bu		(18億8500万Bu)
種子その他:	1億2500万Bu		(1億2500万Bu)
消費合計:	39億4000万Bu		(39億2500万Bu)
期末在庫:	2億6000万Bu		(3億0500万Bu)
在庫率	: 6.6%		(7.7%)

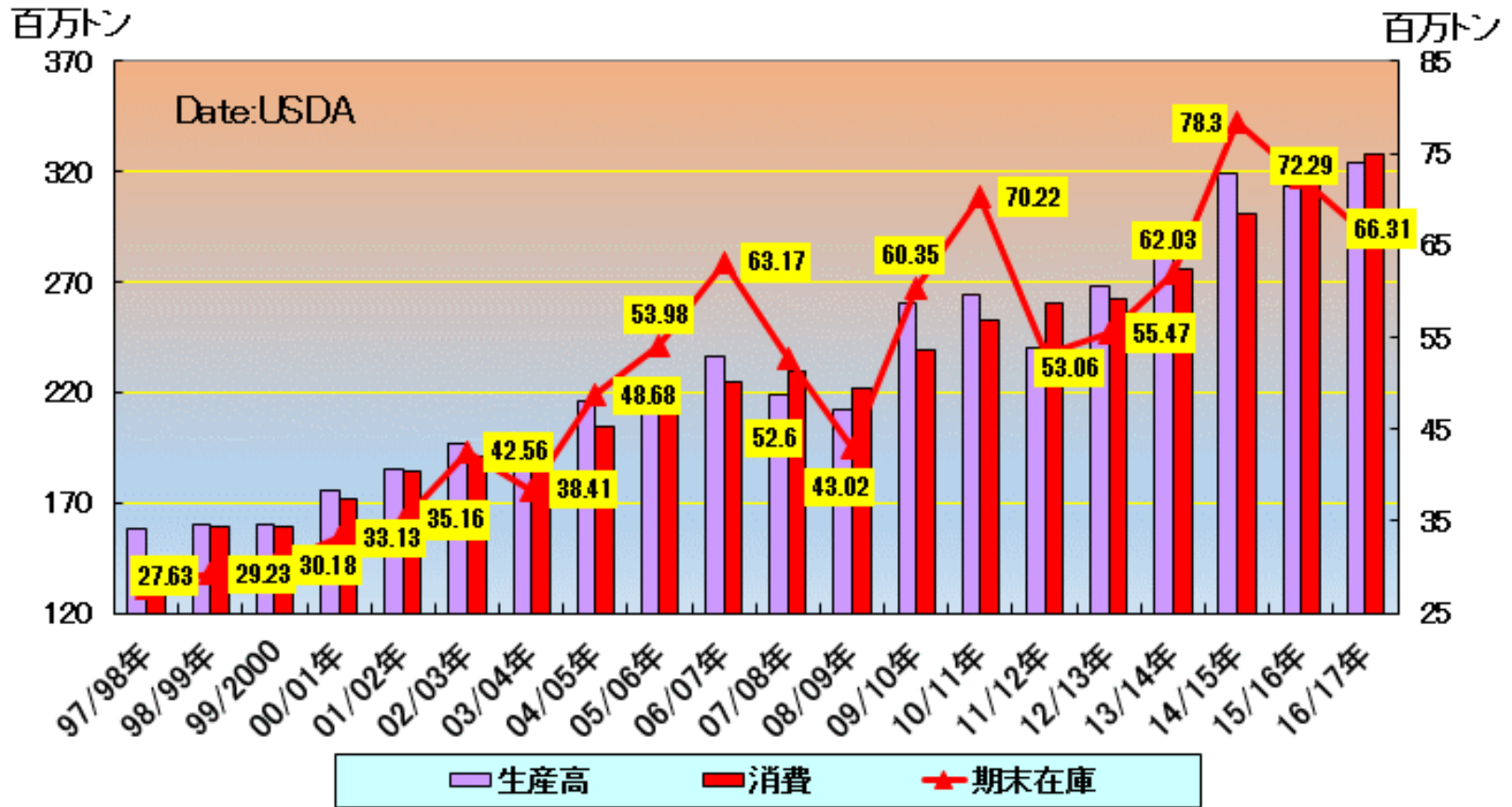
2015/16年米国期末在庫は、3.7億Buと3000万Buの下方修正。2016/17年
期末在庫は2.6億Buとロイター予想平均2.89億Buを下回る。



世界大豆需給推移

2016/17年世界期末在庫6631万トンと、ロイター予想平均6667万トンを下回る。

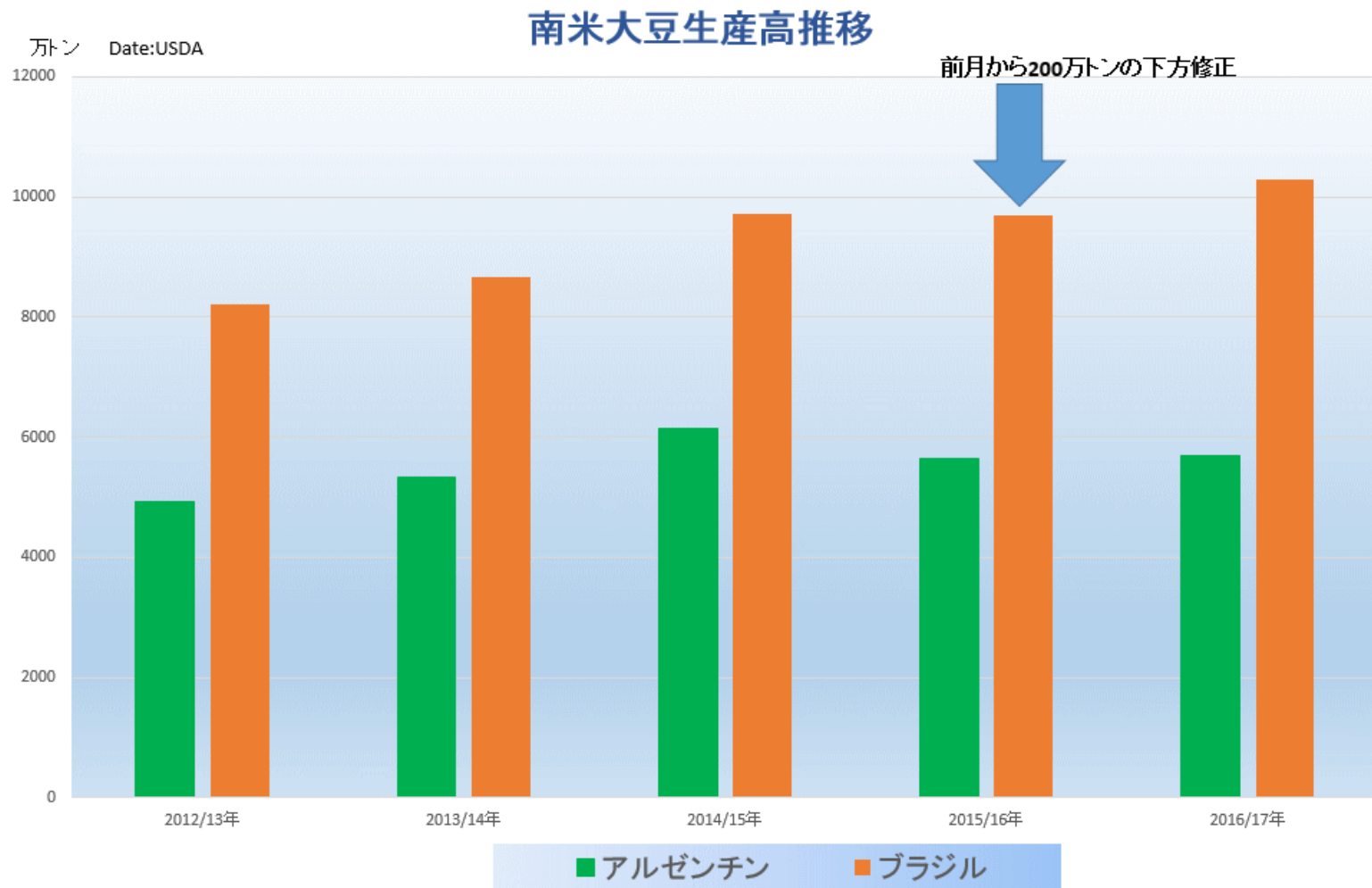
世界大豆需給



世界大豆需給

- 2015/16年世界大豆生産高はブラジル生産高の引き下げを受けて3億1325万トンと-260万トンの下方修正となりました。ブラジル生産高を-200万トン(9900→9700万トン)引き下げ、アルゼンチン生産高は5650万トンと据え置かれました。旧穀の2015/16年世界大豆期末在庫を7228万トンと前月から197万トンの下方修正となりました。
- 新穀の2016/17年世界期末在庫は、前月から190万トン下方修正の6631万トンとし、ロイター予想平均6667万トンをやや下回りました。需給が前年から約600万トン、2年前から約1200万トンほど引き締まる見通しとしています。

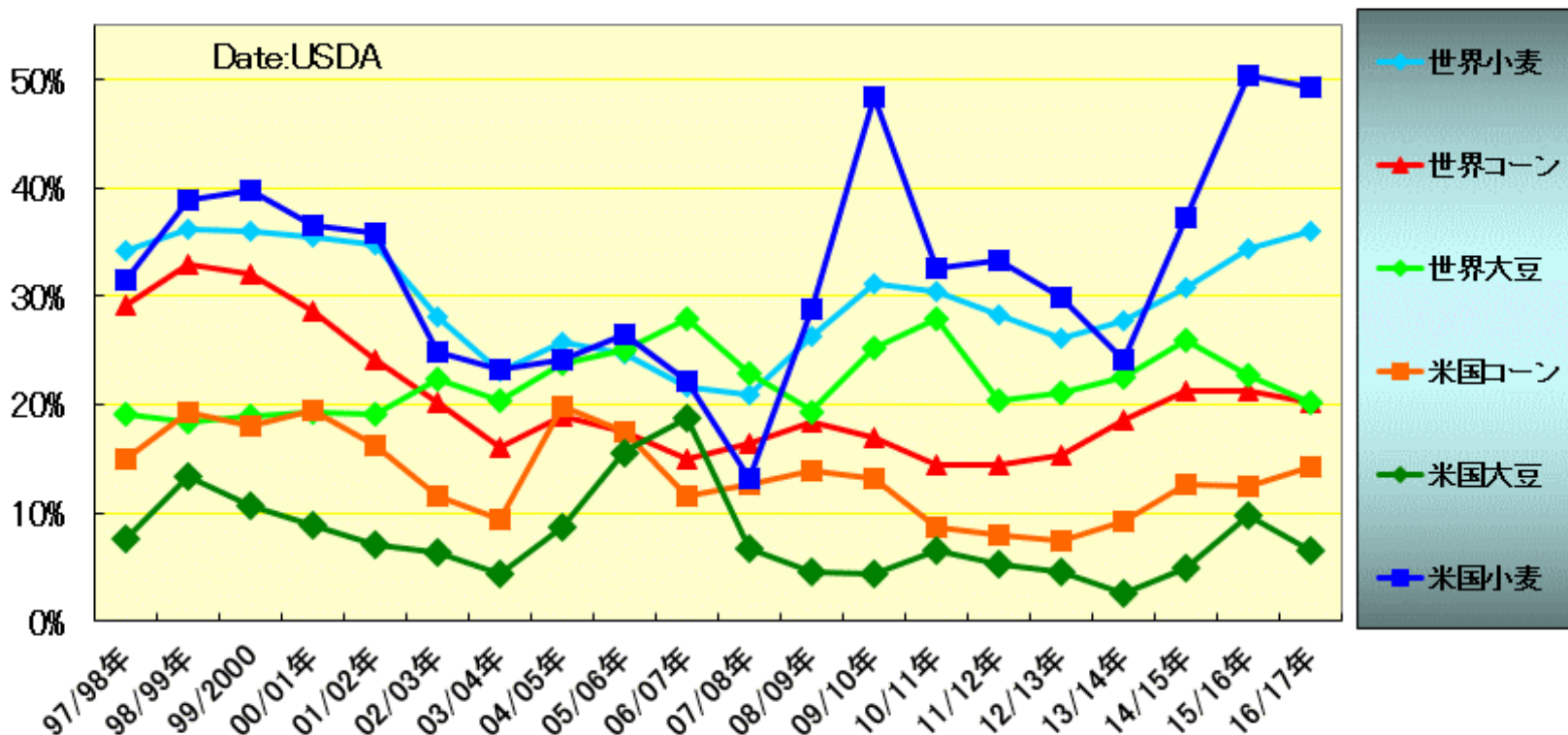
南米大豆生産高推移



穀物在庫率推移

米國小麦在庫率は、供給過剰で旧穀在庫率は50.5%、新穀49.2%、米
国大豆が一番タイト

穀物在庫率推移



結論

- 旧穀米国産は輸出需要が3ヶ月連続で上方修正、期末在庫が3.7億Buと前月から3000万Bu下方修正され、ロイター予想平均3.85億Buをやや下回り強材料。新穀期末在庫も2.6億Buとロイター予想2.89億Buを下回り強材料。在庫率は旧穀も10%を割り込み需給逼迫。世界需給も2015/16年ブラジル生産高が引き下げられ、穀物の中では大豆が一番需給が引き締まる見通しとなっている。
- ラニーニャ現象が大豆の着サヤ期に影響を与えそうなことも供給面での懸念材料となりそうである。
- 東京一般大豆先限も堅調に推移しています。天候プレミアムを織り込みつつ、先高期待感から、投機人気が高まりそうである。目先は昨年12月以来の50000円超えを狙いそうだ。

一般大豆先限日足

天候プレミアムを織り込み昨年12月
高値50680円を伺う。



商品先物取引業者：岡安商事株式会社

【本店】

TEL:06-6222-0001 FAX:06-6203-7700

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2-3-8

【東京本部】

TEL:0120-342825 FAX:03-5641-1725

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-1-1

日本商品先物取引協会会員
経済産業省 平成22・12・22商第6号
農林水産省指令22総合第1351号

・お客様相談窓口

大阪本社管理部

TEL:0120-346-492

東京統括店管理部

TEL:0120-182-461

・商品先物取引苦情相談センター

日本商品先物取引協会(東京)

TEL:03-3664-6243

- ・当社の企業情報は、当社本支店及び日本商品先物取引協会またはそれぞれのホームページで開示されています。
- ・商品先物取引は委託に際して委託者証拠金の預託が必要になります。最初に預託する委託者証拠金の額は商品により異なりますが、最低取引単位(1枚)当り最高190,000円、最低9,000円です。但し、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。また、その額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
- ・損失限定取引(スマートCX)は通常の商品先物取引とは異なり、最低取引単位(1枚)当り最高1,150,000円が必要となります。
- ・商品先物取引による取引の額は、最初に預託する委託者証拠金の額に比べて著しく大きい額となります。具体的には、商品によっても異なりますが、対面通常取引の場合は委託者証拠金の額の約10倍から約45倍、対面損失限定取引(スマートCX)の場合は委託者証拠金の額の約2倍から約8倍の額にもなります。
- ・商品先物取引は、相場の変動によって利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、委託者証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その利益や損失も預託している委託者証拠金等の額に比べると高いものとなることがあります。
- ・商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によっても異なりますが、最低取引単位(1枚)当り最高8,100円、最低540円(片道税込み)です。
- ・損失限定取引(スマートCX)は通常の商品先物取引とは異なり、最低取引単位(1枚)当り最高12,150円、最低1,555円(片道税込み)が必要となります。(平成28年6月1日現在)